

江尾小学校運動会 (5月20日)



◎主な内容

- 新しいまちづくりをめざして 2～5
- 江尾診療所糖尿病外来の派遣医師として ほか ... 6～7
- 笠原工業団地の環境保全に関する協定を締結 ... 8
- 禁煙をしてみませんか 9
- 大人子どもががんばりました！うんどうかい ... 10～11
- スポーツ大会結果など 12～13
- マーカー大いありい② ほか 14
- 6月の本棚～町立図書館より～ 15
- 情報コーナー 16～17
- 行事あれこれ ほか 18
- 人の動き ほか 19
- 瓜菜沢牧場で和牛放牧はじまる ほか ... 20

新しいまちづくりをめざして

4月26日、これからのまちづくりの基本方針となる江府町まちづくり推進計画が、江府町まちづくり推進委員会の石原忠哉会長から竹内町長に手渡されました。



一・江府町まちづくり推進計画策定の背景

住民のみなさんにより身近で、地域の特性にあった施策を展開するため、地方分権改革として「三位一体の改革」が推進されました。

地方が自立し、独自の判断で、地域の特性を活かした、まちづくりが求められています。

しかし、その内容は「国から地方への財源移譲」「国庫補助金の見直しによる削減」そして「地方交付税の見直し」であり、地方財政にとっては非常に厳しい内容となっております。

町では、平成十一年三月に「江府町行政改革大綱」を定め、住民のニーズの多様化、権限委譲に対し、即応できる体制づくり、また地域振興を行ってきました。

しかしながら、合併しない道を選択したわがまち江府町にとつては、より厳しい財政運営が求められています。

江府町が一つの独立した町として、まちづくりを進めて

いくためには、行政だけでなく、町民のみなさんとともに、将来のまちづくりに向けて、あらゆる分野での見直しと改革を断行していかなければなりません。

よって、行財政の見直し、改革を行うため新たに、「江府町まちづくり推進計画」を定めました。

二・行財政改革の基本方針

新しいまちづくりを行うために、効率的な行政運営、町民のみなさんにとってより満足度の高い行政サービスの提供できる行政システムの構築が必要になってきます。

行財政改革では、「補助金や扶助費の削減、人件費・投資事業の抑制、さらには使用料・手数料、負担金・分担金の引き上げなど、町民のみなさんにも痛みのある改革を実施せざるを得ない」ということを認識する必要があります。

これらを実現するため、次の基本方針により改革を推進

します。

(ア) 住民参画によるまちづくりの推進

住民が自らの意思で、安心したまちづくりを実現できる体制づくりを進め、住民と行政との協働による行政改革を推進します。

(イ) 安定した財政運営

将来にわたって安定した財政運営を行えるよう、事務・事業はもちろん、あらゆる面での見直しを行い、すべての行財政運営において、不断の点検を行います。

三. 推進期間

計画の期間は平成十八年度から平成二十二年度まで

四. 推進組織

広く住民の意見を聴く機関として、「江府町まちづくり町民会議」を置き、各集落の要望や意見を聴くとともに、情報提供の場とします。



五. 行財政改革の重点事項

(一) 事務・事業の見直し

- ・ 事業開始から長年経過し、効果がないものは廃止
- ・ 普通建設事業は、緊急性・重要性を重視し、事業期間の延長、事業費の縮小による実施を検討
- ・ 国・県の補助が削減された事業は、廃止・縮小を視野に入れて見直し
- ・ 新規事業は、必要性と目標を明確にし、財源確保に努め、十分な検討を行う
- ・ 物件費、人件費、および各種団体などへの補助金や負担金の見直し

(二) 適正な定員管理

平成二十二年度までの五年間を期間とする定員適正化計画を策定

(三) 財政運営の健全化

- ・ 財政推計は、毎年決算に基づき、町報などで公表
- ・ 常にコスト意識をもち、歳入の確保、歳出の抑制に努める
- ・ 公共施設の使用料、水道料金、下水道料金などの公共料金の見直し

(四) 民間委託等の推進

- ・ 施設の廃止、民間委託・譲渡、直営などの方針の明確化
- ・ 民間事業者のノウハウを有効に活用し、財政支出の負担軽減と良質のサービスを提供できる指定管理者の指定

(五) 町民との協働による行政推進

- ・ 住民と行政の役割を明確にした連携の強化
- ・ 新たな提案については、まちづくり町民会議などで広く意見を求め、住民の意見を反映する

六. これからのまちづくり

まちづくり

行財政改革をすすめるながら、町民一人ひとりがふるさとに誇りをもち、生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

このために、町民と行政が一体となってまちづくりの夢を育てていく、また、情熱を持ち、行動することが必要です。

「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」を実現するため、次のとおりまちづくりの基本方針を定めます。

(一) 町民の理解を

得られる給与制度

● 給与
職務と給与のバランスが取れたシステムの構築が必要となってきました。

また、近年公務員の給与に対し、厳しい目が注がれ、給与改革が迫られています。

このような状況の中これまでに、町民の理解が得られる、給与改革を図る必要があります。

・ 国および他町村の動向をみ

ながら、町村職員にふさわしい給与体系
・ 給料は、段階的に理想的な階層・職務に基づいた形にする

・ 昇給は、年功的要素ではなく、勤務成績の反映を十分にした制度の構築

・ 仕事の意欲が減退しない給与システムづくり

● 機構

著しい職員の削減は、行政サービスの低下につながるとともに、非常事態に対応することが出来なくなります。

したがって、住民のニーズにあった、スリムな(小まわりのきく)機構改革を行います。

・ 同じ種類の仕事を統合し、事業を熟知した職員の養成(専門職、施設維持管理、計画・立案)

● 職員の人材育成
全国的市町村職員研修などを積極的に利用し、職員の接遇、事務などの能力向上を図ります。

(二) 自然とともにさわやかに暮らせるまちづくり

●選挙

現在二十一箇所投票所を設けていることで、多額の費用を費やして選挙を実施しています。

また、ポスター掲示場についても、九十三箇所と多くこれらの見直しを行います。

・町民の意見を聴き、投票所の適正配置を図る

・ポスター掲示場の適正配置

・投票所の統廃合で、遠距離となるので、投票所までの交通手段の確保

●行政

多くの行政からの情報が、一方通行になる場合が多く、取り組みが出来ない状況があります。

よって、地域で事業展開ができるシステムづくりを行います。

・集落住民への情報伝達方法の改善

・適時に情報を伝達できるシステムづくり

・町民と協働のまちづくりを推進するシステムづくり

●ひとづくり

まちづくり積極的に

わかっていく人材を育成し、各種情報の積極的公開により、住民のまちづくりへの参画を促します。

・まちづくりを支える人材の育成強化

・研修会、講習会の場の提供をし、住民の積極的参加を図る。

●公共施設利用

多くの公共施設が、有効に利用されていない状況で、さらには小学校統合に伴い校舎が利用されなくなります。

早急に利用方法を検討し、有効活用を図ります。

・小学校統合後の跡地有効利用

・現有施設の本来の目的にあった効果的な利用と、指定管理者の指定を行う

●地域防災

異常気象が続き、いつ大災害が発生するかわからない状況です。現在の町の防災体制では、限界があります。今後は、地域防災組織の確立の推進を図ります。

・自主防災組織活動への支援

・救急救命講習会、消火訓練などの実施による住民啓発

●地域防犯

最近の犯罪は、巧妙かつ悪質なものとなっており、その標的は若年者から高齢者まで幅広くなっています。

このため、町ぐるみの防犯対策の推進を図ります。

・情報提供などによる住民啓発

●観光の振興

町内各所で、風景が写真や絵画の被写体となるほど自然豊かな町です。受け継がれた素朴な文化などを、ピーアールするとともに、景観の保全を図ります。

・写真被写体としての、観光素材（風景等）の保全

・地域資源（人・産物・自然）の活用

・江尾十七夜の観光商品化

●だれもが利用しやすい路線バスの運行

安全・安心して利用できる移動手段として、地域密着型公共交通システムの確保を図ります。

・学校統合後、通学バスの確保および住民が使いやすい路線バスの運行

・住民代表による、生活路線バス対策協議会の開催

・安心して利用できる、バス停留所などの周辺環境整備

●情報通信格差是正の推進
だれもが、どこにいても正しく情報の伝達、取得ができるよう情報通信網の整備を推進します。

・地上波デジタル放送へ向け難視聴地域の把握と、戸別

改修、難視聴共同受信設備の新設または改修のための

情報提供や支援

・高速電気通信網ゼロ地域への格差是正の推進

・携帯電話不感地区の解消

・インターネット環境の充実

●企業誘致の推進

地域の雇用確保と経済活性化のため、江府町の豊かな環境に適した企業の誘致に努めるとともに、誘致環境の整備を図ります。

・観光人口の増加、人口定住化の促進

・小江尾工業団地の有効活用

(三) 地域ですすめる健康づくりと生きがいづくり

●健康増進対策

健康づくりのためには、食生活の改善、適度な運動、こころの健康などが重要です。

このために、ボランティアグループの育成を図り、自主的に事業ができるように努めます。

●健康増進対策
生活習慣病に効果のある農作物（ヤーコン芋など）の栽培を奨励し、特産品目の開発とともに、健康作物としての普及を図ります。

●子育て支援
高齢者対策および子育て支援対策は、重要な課題です。障害者対策についても、障害者自立支援法に基づく対策を講じる必要があります。

このため、障害者福祉計画を策定し、だれもが生きがいをもって暮らせる福祉対策に努めます。

●子育て支援
小学校統合後に、江尾小学校以外の小学校施設の活用とあわせて、児童の遊び



場の確保

- ・放課後児童クラブなど学童保育について、小学校統合後、ボランティア組織などによる対応を推進

- ・図書館の平日以外の利用時間の延長について検討し、さらなる利用増を図る

●地域でささえる福祉対策

- ・高齢者などの経験、豊富な知恵を活用して、さまざまな場面での活動と支援

(五) 二十四時間、三百六十五日

安心できる

医療体制づくり

- 保健・医療・福祉の拠点である総合健康福祉センター・江尾診療所は、町民が安心・安全な生活を営むための医療機関として、地域医療に取り組んでいます。また、他の医療機関とも連携し、二十四時間、三百六十五日安心できる医療体制づくりに努めています。

●地域医療体制の充実

- ・診療所の診療時間について検討し、利用者の利便向上を図る



(六) 水と緑を活かした

快適で住みよい
協働のまちづくり

●農業経営効率の向上

- ・農業経営の法人化の推進や認定農業者、集落営農組織などの育成に努める
- ・生産組織や農地の集積により、農作業の効率を高め、安定的な経営体の育成に努める
- ・収益の高い農産物体制（特産品・加工品・観光農園等）づくりの推進と地元農産物を地元で消費する地産地消の推進
- ・大豆・そば・特別栽培米のブランド化により、付加価値を高め、収益増につなげるように努める。
- ・有機性資源の循環利用、減

化学肥料栽培による環境に

やさしい農業の推進

- ・畜産経営の維持発展に努め、耕種農業と畜産の連携により、「農」の基本である土作りの推進

●森林の有効活用

- ・山村破壊を最小限にとどめる工夫をしながら林道などを整備し、生産基盤の強化
- ・森林の計画的な管理の推進
- ・山間地域の有効利用を図り、椎茸、竹炭、葉物花木（しぶき・さかき・高野槇等）などの栽培を推進し、収益を得ることにより、林業の安定化を図る

●快適な環境づくり

- ・空き家および廃校などを利用した、Uターンの促進および若者定住を図る
- ・安全安心な福祉住宅づくりを計画的に推進
- ・良質な水の安定供給を行うための、施設整備を計画的に推進

ミなどの分別を推進

- ・悪質な不法投棄が未だに発生しており、徹底した防止対策の推進
- ・環境問題は、町独自の啓発が必要であり、例えば「大山水系に「ほたる」を飛ばそう」などの取り組みを行うことで、環境への意識改革を図る

機会の整備推進

- ・確かな学力と心豊かでたくましい児童生徒の育成
- ・社会教育施設を拠点とした学習情報の提供、学習相談活動の推進

●活力と生きがいに満ちた美しいふるさとづくりの推進

- ・部落差別をはじめとするあらゆる差別の早期解消を目指すし、「人権二十一世紀」の実現
- ・女性自身が参画意識を高めていくため、住民・地域・職場・学校・行政が一体となった取り組みの推進
- ・心豊かでたくましい子どもの育成を図るため、家庭、地域、学校が一体となった活動の推進

- ・法律に反した野焼きなどについては、広報などで周知を行いながら、自然環境についての再認識を図る
- ・道路の改良、舗装等の工法の検討を行い、安全、安心な道づくりの推進
- ・避難経路図（ハザードマップ）を作成し、住民への周知

- ・上下水道事業の健全経営を行うためには、施設管理コストなどを検討し、費用縮減を図り、早期に料金改定を検討

(七) 思いやりと心豊かな

人づくりの推進

- 一人ひとりの能力と適性を生かし、ふるさとに自信と誇りを持たせる教育の推進

●町民一（いち）スポーツの推進

- ・住民が何か一つスポーツすることを目指し、スポーツ・レクリエーションの振興と健康・体力づくりの推進

- ・下水道未普及地域の早期解消を図る必要があり、積極的に整備の推進
- ・ごみ削減計画の策定
- ・住民の協力（グループ等の活動）による、古紙・生ご

江尾診療所糖尿病外来の 派遣医師として

＝ 鳥取大学医学部・地域医療研究部出身 乗本医師 ＝

四月、江尾診療所の糖尿病外来（月二回）に、鳥取大学医学部附属病院から乗本共香^{のりともか}医師が派遣されています。

乗本医師は、鳥取大学医学部の学生時代、地域医療研究部に所属し、そこで、江府町内の主な集落の実態を、武地医師の指導を受けながら、調査研究したピカピカの一年生医師です。



乗本医師に、医師になったの感想と、鳥取大学医学部附属病院に在職したことについて聞いてみました。

●二年間の臨床研修が終り、四月から医師として働いているわけですが、今の率直なお気持ちは？

☆正直言つて、緊張の毎日です。今、病棟で患者さんを診察しています。

私の名前がかかっている主治医の名札をみると、大きな責任を感じますし、医師としてのやりがいを実感しています。

江府町での調査研究は 貴重な経験

●乗本医師は学生時代、江府町内で地域医療研究の取組みを何度か経験していますが、医師となって、その経験は活かされていますか？

☆私には、大変貴重な経験でした。

地域医療研究部では、住民の方々に直接お会いして、その地域の健康に対する取り組みを通じ勉強をしました。

今、患者さんを診察するとき、その方自身の生きてきた過程、考え方、家族関係そして、その地域の実情や生活そのものを知ることが、大変重要であることを痛感しています。

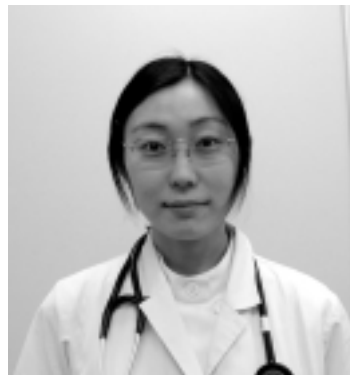
医学部生時代に、授業などでも、直接住民の方と接する機会はほとんどありません。医学の道を志す者にとって、住民のみなさんとのふれあいは、必要不可欠なカリキュラムだと思えます。

●ところで、なぜ、鳥取大学に残って、生活習慣病の治療・研究に携わろうと思ったのですか？

☆生活習慣病の治療・研究に携わろうと思ったのは、母の影響が大きいです。実は私の母も医師で、現在、生活習慣病に携わっています。私の身近でいつも母は、患者さんの病気の治療だけでなく、その方の生活背景や精神的な部分にまで配慮して回りのスタッフの協力を得ながら熱く毎日診療にあたっています。

鳥取大学に残ったのは今、重政教授、谷口講師そして江尾診療所が、この生活習慣病対策に積極的に取り組んでいて、この環境なら自分もやりがいがあると感じたからです。





今は患者さんからエネルギーをもらっています

●なるほど、よく分かりました。さて、臨床研修制度（通称、研修医制度といいますが）いろいろ取り上げられています。

二年間の研修で、感じられたことはなんですか？

☆研修医は、研修カリキュラムにより行なわれます。一か月から三か月で内科、外科、救急災害科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科などさまざまな診療科をまわって研修を行います。

当然、主治医として責任をもって患者さんを診ることはできません。

研修医には、あらかじめ医師としての方向性を決めている人もいますし、この研修の二年間の間に決める人もいますし、さまざまです。

私の場合は生活習慣病に携わろうと決めていたので、いろいろな科で研修することができたことは大変でしたが、勉強になりました。

●最後に、今後の抱負をひとこと。

☆私は今、医師としてスタートしたばかりです。

今は患者さんからエネルギーをもらいながら医師としての経験を日々積んでいるところです。つまり、患者さんの生きてこられた生き様などに感動しています。

これからは、諸先輩からのご指導をしっかりと受けて、医師としても人間としても成長していきたいと思っています。

臨床研修制度とは何か？

臨床研修制度とは、「平成十六年四月から始まった制度で、医学部を卒業後、医師国家試験を受けて医師免許を取得した医師が、幅広い診療能力を身につけることを目的に、二年間所定の研修が義務付けられている制度です。」

臨床研修制度とは、「平成十六年四月から始まった制度で、医学部を卒業後、医師国家試験を受けて医師免許を取得した医師が、幅広い診療能力を身につけることを目的に、二年間所定の研修が義務付けられている制度です。」

介護老人保健施設「あやめ」 6月で1周年を迎えました



介護老人保健施設「あやめ」は、この六月八日で一周年を迎えました。

昨年六月から本年三月までの十か月間の利用状況は、入所が五十八・八割（計画六十割）、短期入所は三十・四割（計画五十割）、通所は八割（計画五十割）で、月別の利用状況は次の表のとおりです。

また、六月一日から武田千濤医師（伯耆町出身）が、施設長として赴任することとなり、四月から施設長として勤務していた、山根祥晃医師は日野病院に異動することになりました。

（単位：％）

利用状況

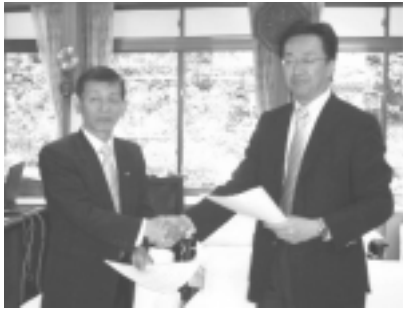
	定員(人)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所	70	18.9	32.7	39.9	45.5	52.3	61.2	73.7	81.5	88.7	85.4	58.8
短期入所	10	8.0	5.8	15.2	36.7	22.3	37.7	48.1	36.1	49.6	46.1	30.4
通所	30	18.2	23.7	25.1	28.6	31.7	36.0	36.3	41.5	46.7	47.9	33.8

笠良原工業団地の

環境保全に関する協定を締結

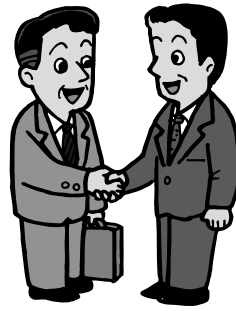
五月十五日、江府町とサン
トリー天然水株式会社（徳田
昌嗣代表取締役社長）は、「奥
大山ブナの森工場（笠良原）
の操業に向け、工場周辺地域
の環境保全に関する協定書を
取り交わしました。

工場の操業は、平成二十年
三月の予定ですが、試生産を
開始する段階から環境に配慮
するため、今回の締結となり
ました。



竹内町長と徳田社長（右）

基準の設定
協定は、水質汚濁防止等の
対策、騒音振動防止の対策お
よび大気汚染防止の対策につ
いて定めています。
大気汚染防止の対策等につ
いて、基準を設定しているほ
か、サントリーが自主的に測
定した結果も、インターネット
トなどで公開することについ
ても定めています。



報告と公開

この協定で基準を定めた排
水および大気に関するデー
タは、工場の揚水量、井戸の水位、
生産排水量と排水処理方法と
ともに、町が設置する「笠良
原地域周辺環境モニタリング
委員会」の要請に応じて報告
することを定めています。

調査と改善措置

町は、必要に応じて工場の
環境保全対策について報告を
求めるほか、立ち入り調査を
行い、改善措置が必要な場合
には、町の要請に応じてサン
トリーは誠意をもって対応す
ることとなっています。

環境保全への 務めと協力

また協定では、地下水の保
全に関する事項や環境保全対
策として、用地内の緑化の実
施、周辺の環境保全や水源涵
養林（かんようりん）対策な
どの活動を、町と協力して行
うことを定めています。

町では、引き続き周辺の川
の流量や水道水源の水位など
周辺の環境について観測を行
うとともに、委員会での監視
を通じて今後とも豊かな自然
環境を保全していくこととし
ています。

建設の進む「奥大山ブナの森工場」



現在の笠良原の工場建設用地 手前が鏡ヶ成方向

禁煙を試してみませんか

タバコは
一種の薬物依存

タバコに含まれるニコチンは、喫煙により体内に吸収され、時間の経過により体内から消えていきます。

しかし、体内ではニコチン量を、一定に保つよう調整する作用が、無意識のうちに働きます。

この作用により、低タール・低ニコチンのタバコであっても、吸う本数や吸う強さが増え、逆に健康への悪影響が増大することも指摘されています。

禁煙に挑戦したい方へ

禁煙を成功させる第一条件は、本人の「絶対やめる!!」という意志です。

しかし、喫煙習慣は薬物依存でもあるため、意志だけではやめられないことが多々あります。そのような時は、禁煙補助剤を使用してみること

もひとつの方法です。

禁煙補助剤について

禁煙をたすける薬を「禁煙補助剤」といいます。種類には、ニコチンガムやニコチンパッチがあります。薬局では売っていませんが、医師の処方箋をもらうことで入手できます。使用したい人は、医師に相談してください。

とくに、禁断症状が強い人は、試してみるとよいでしょう。

六月一日から総合健康福祉センターでの喫煙は禁止しています。

タバコの先から立ち登る煙は、喫煙者が吸っている煙よりも、強い毒性があります。

この煙を吸わされること(受動喫煙)による、健康被害を予防する対策が世界的に進められています。

よって、町の健康づくりの

拠点として活動している、総合健康福祉センターでも、受動喫煙を防止するため、六月一日から、建物内および出入り口付近での喫煙を禁止しています。

また、禁煙施設としての申請もあわせて行います。

禁煙施設とは？

- 一. 禁煙の表示がされている。
 - 二. 施設内での禁煙に、協力してもらうよう普及・啓発ができています。
 - 三. 施設内に灰皿が置かれていない。
 - 四. 施設外にタバコの吸いガラが散らかっていない。
- ・ ・ ・ 以上の条件を満たして、禁煙施設となります。



禁断症状ってなに？

禁断症状は、体からニコチンが抜け出すためにおこってくるもので、禁煙後3日目ぐらいが一番ひどくなります。長くても2～3週間で消失します。この時期を乗り越えた人の半分以上が禁煙に成功します。

●体におこる禁断症状

- ※めまいがする、頭がぼーっとする、頭が重い
 - ※体がだるい、眠い、体がしんどい
 - ※汗をかく
 - ※せき、タンが禁煙前よりよく出る。
- これらの症状は、健康回復のサインです。
- 4、5日目から、体はすっきりしてきます。

●心におこる禁断症状

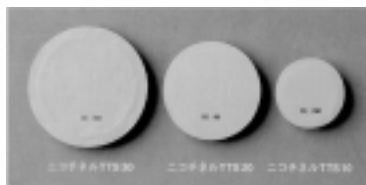
- ※落ち着かない
 - ※とてもタバコが吸いたくなる
 - ※集中できない、イライラする
- これらの症状は、3か月から1年続くこともあります。次第に少なくなります。

(参考)

保険診療になっていない医療機関では、自費になります。医療機関によって、費用は異なりますが、おおむね数か月のたばこ代くらいになります。

○鳥取県西部の保険診療適応の禁煙治療医療機関 (3カ所)

病院名	住所	電話番号
飛田医院	伯耆町溝口	(0859)62-1023
野坂内科医院	米子市博労町	(0859)31-0707
市場医院	境港市市場崎町	(0859)44-5551



町内四小学校と、三地区の運動会が、盛大に開かれました。【五月二十日(江尾小)、五月二十七日(米沢小・明倫小及び校区)、六月三日(俣野小及び校区)】小学校では新しい学年がスタートして二ヶ月。特に一年生は学校生活が始まったばかりのこの時期で短い練習期間でしたが、みんなが演技や自分の役割に力を発揮し、一人ひとり、だれもが主役のすばらしい運動会となりました。また、各校区では春の農作業も一段落、参加したみなさんは、日ごろの運動不足解消と、地区民交流の有意義なひとときを過ごしました。



▲「そのままいってくれ！」(米沢校区)



▲「お味はいかが？」(俣野校区)



▲負けるもんか(江尾小)

がんばりました!



▲「お母さん、待って!!」(俣野小)



▲「ナイスキャッチ!!」(江尾小)



▲激しい女のたたかい!!(明倫校区)



▲力を合わせて(俣野校区)



▲勇壮な子ども神楽(米沢小)



▲「それっ!!」(俣野校区)



▲大物をゲットしました(俣野小)



▲飛んでいますねー(米沢校区)



▲たかがあんパン・・・
されどあんパン(明倫校区)



▲「決まったね」(江尾小)

大人も子どもも

う ん ど



▲外から逆転です(明倫校区)



▲最高の笑顔です(米沢小)



▲となりのことも気になる?!(米沢校区)



▲どっちも負けるな(米沢小)

職域・グループ対抗 レクリエーション大会

江府町職域・グループ対抗レクリエーション（ソフトボール）大会が、五月十七日から運動公園総合グラウンドで行われました。

大会には職場やグループの仲間で開催された十チームが参加。トーナメントにより熱戦を展開しました。

選手たちは、なごやかにそして時には真剣にハッスルプレー、心地よい汗を流していました。

結果は次のとおりです。

【一回戦】

●かわばたチャンドラーズ

11 対 9

チロル親

●マグマ体指

21 対 11

役場B



▲ナイスバッティング!!

【二回戦】

●かわばたチャンドラーズ

30 対 0

J A ソフトバンク

●役場A

不 戦 勝

浜本組

●かわばたスパータンズ

12 対 12

J A しろみて
(抽選による)

●商工会

8 対 3

マグマ体指

●浜本組

21 対 10

住田組

【準決勝】

●かわばたチャンドラーズ

19 対 5

役場A

●商工会

19 対 11

かわばたスパータンズ

【三位決定戦】

●役場A

10 対 4

かわばたスパータンズ

【決勝】

かわばたチャンドラーズ

4 3 3 0 0 0 7

0 0 0 3 7 2 0

商工会

12

17



▲社員一丸のV、(株)かわばた

く備えて安心スポーツ知識く

江府町スポーツ少年団研修会

五月二十四日、防災・情報センターにおいて、スポーツ少年団員とその保護者、指導者の研修会が開催されました。まず初めに、大塚製薬株式会社 後藤洋一さんから、熱中症の怖さと水分補給の大切さを映像を交えながらお話しいただきました。ビデオが終わると内容に関するクイズが出され、子どもたちは学んだ内容について復習しました。

公認指導者で、指導者講習会の専任講師、テーピングの認定トレーナーなど多くの資格を持たれ、県内では陸上競技や水泳などの審判員としても活躍されています。



▲上杉秀樹先生



▲たのしいクイズにみんな笑顔!

つづいて、境港市立誠道小学校教頭 上杉秀樹先生の講演『楽しくて有意義なスポーツライフ』を聴きました。上杉先生は日本体育協会の

この講演では、子どもが成長する過程で筋肉や骨にどのような変化が起こっているのか、また、ストレッチは伸ばしている場所を意識しなければ意味がないことやウォーミングアップの重要性などをスライドを使ってわかりやすく説明していただきました。参加者（児童生徒四十名、保護者十五名）のみなさんは、個別にテープの貼り方を質問するなど、今後活動していく上で大変有意義な時間を過ごしました。

チロルジュニア健闘及ばず、優勝は三年ぶり石見スポ少

第三十七回鳥取県学童軟式野球大会日野郡予選

日野郡少年野球江府町大会兼第三十七回鳥取県学童軟式野球大会日野郡予選が、六月二日、三日の二日間にわたって運動公園総合グラウンドにおいて行われました。



また応援席では、どのチームも保護者のみなさんがメガホンを打ち鳴らしながらの大声援。一球一球に悲喜こもごもの表情で、選手たちを見守っていました。



出場チームは、郡内三町の学校や地区などを単位としたスポーツ少年団の五チーム。年々、児童数が減っていくなかでチーム編成も難しくなっています。選手たちは、白球を追いかけ守備に攻撃に全力プレーで熱戦を繰り広げました。

チロルジュニア江府は、初日第二試合に登場、石見スポーツ少年団と対戦しました。石見スポーツ少年団は、レギュラー全員が六年生の強豪チーム。チロルジュニアは、ただ一人の六年生桑原聖投手を中心に一丸となって戦いましたが、力及ばずコールドゲームで敗戦となりました。



石見スポーツ少年団	177
チロルジュニア江府	002
(三回コールド)	
	215

二日目は、根雨スポーツ少年団との三位決定戦。

一回表、チロルジュニアは二点を先制、桑原投手がその裏の根雨の攻撃を0点に抑え、幸先の良いスタートを切りましたが、二回裏、守備の乱れにつけ込まれ一挙に十一点を与え、初戦に引き続きコールドゲームとなりました。



チロルジュニア江府	200
根雨スポーツ少年団	011
(三回コールド)	
	122



今シーズンのチロルジュニアは、六年生一人、五年生二人。試合経験のない低学年の児童が多いチーム編成となっています。

このような中、川端一美監督の下で保護者、選手がひとつになつて毎週の練習に取り組んでいます。

野球シーズンは始まったばかりです。江府球児たちの今後の活躍に、どうぞご期待ください！



ハロー エブリワン！ お知らせです。江府中学校のALT（英語指導助手）としてお世話になっていましたマークス先生ですが、来月、アメリカへ帰られることになりました。

児童・生徒のみなさんとは、1学期でお別れです。とても積極的にこどもたちや、地域の方々とふれあっていただいたと思います。さびしくなりますが、残り少ない日本の生活を楽しんでいただきたいと思いますし、未定ということですが今後のご活躍も期待したいものです。

I enjoy many things about Japan. One of the things I like the best about Japan is traveling.



私は日本についていろいろなことを楽しみました。そのなかでも、旅行が一番好きです。

I have visited many places in Japan : Tokyo, Kyoto, Nara, Fukuoka, Hiroshima, Nagasaki, Okayama, Kobe, Matsue, Tottori, and many others.

(わたしは日本のたくさんの場所をおとずれました。東京、京都、奈良、福岡、広島、長崎、岡山、神戸、松江、鳥取、他にもたくさん。)



I like Osaka very much. It only takes about four hours by bus, and it is not very expensive.

(わたしは大阪がとても好きです。バスで4時間ほどですし、値段も高くありません。)

There are many stores with good products and prices. There are also many fun places to go, such as Universal Studios and the Kaiyukan Aquarium.

(いいものが安い店がたくさんあります。ユニバーサルスタジオ、海遊館のような楽しめる場所もあります。)

Most of all, Osaka has many delicious foods. There are Kansai favorites like okonomiyaki and takoyaki.

(すべてで一番は、おいしいものがたくさんあることです。関西では、お好み焼きやたこ焼きが好まれます。)

※日本のいろいろな場所で、文化や伝統にふれてみられて、感銘されたり、今でも不可思議に思われたりされているかもしれません。もっともっと、日本を好きになっていただきたいですね。

6月は「食育月間」毎月19日は「食育の日」です

「食育」とは、●生きる上での基本であって、知育・徳育及び体育の基礎となるべきもの。●様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。と定義されています。近年、子どもたちのまわりには多種類の食品があふれ、豊かな食生活を享受しています。その一方で、栄養バランス、食事のあり方などに多くの問題点が見られ、偏った栄養摂取、肥満症等の生活習慣病の増加や低年齢化など、食に起因する新たな健康課題が増加しています。

★望ましくない食習慣が及ぼす、子どもたちの心や体への影響★

朝食欠食、必要以上の夜食・間食、不規則な食生活、一人だけの食事
ファストフードやインスタント食品に頼りすぎ



生活習慣病の増加、学力・体力の低下、コミュニケーション不足、
豊かな心の欠如、食べ物の価値や食文化の喪失



江府町の学校給食では、地産地消を心がけた栄養バランスのよい献立はもちろん、特徴的な取り組みとして、卵・小麦・乳などにアレルギーを持つ児童生徒に対して代替食の提供も行っています。これはアレルギーの原因となる食品にかわる別のものを使って同じおかずを作ったり、その食品を含まない製品を取り入れたりすることで、だれもが同じように楽しく給食の時間を過ごせるように工夫したもので医師の診断をもとに実施しています。子どもたちが心も体も健康で豊かな人間性を育み、生きる力をつけていくために、家庭でも改めて「食育」について考えてみましょう。



♡ 6月の本棚 ♡

～町立図書館より～



●あたらしくはいった本

小説・エッセイ

- ・推理小説 秦建日子
- ・刑事雪平夏見 アンフェアな月 秦建日子
- ・花宵道中 宮木あや
- ・心霊探偵八雲 4～6 神永 学
- ・失われた町 三崎亜記
- ・鴨川ホルモー 万城目学
- ・象の背中 秋元 康
- ・窓の灯 青山七恵
- ・アイの物語 山本 弘
- ・星空 流奈
- ・サルビア 蓮
- ・そのときは彼によろしく 市川拓司
- ・まんまこと 畠中 恵
- ・はじめての文学 浅田次郎
- ・はじめての文学 宮部みゆき
- ・はじめての文学 よしもとばなな
- ・はじめての文学 村上 龍
- ・はじめての文学 宮本 輝
- ・風が強く吹いている 三浦しをん
- ・林住期 五木寛之
- ・河原荒草 伊藤比呂美
- ・おんなのこぼ 茨木のり子

そのほか

- ・カワイイを着てでかけよう！おうちで作る、イヌの服
- ・かんたん犬ごはん プチ病気・生活習慣病予防！ 須崎恭彦
- ・手で編む可愛い布ぞうり 小石正子
- ・絵本から生まれたおいしいレシピ きむらかよ
- ・いちばんわかりやすいソーイングの基礎BOOK
- ・決定版 はじめてのお菓子
- ・初めての妊娠・出産
- ・つつこみ力 パオロ・マツァリーノ
- ・なぜ日本にはいい男がないのか2 1の理由 森川友義
- ・ゴー宣 暫 小林よしのり
- ・うちの3姉妹 3・4 松本プリッツ
- ・新・買ってはいけない4

●今月のおすすめ！

★鴨川ホルモー 万城目学



葵祭りの帰り道にもらったピラは「京大青竜会」のサークル案内。何をやるサークルなのか分からず、参加した新歓コンパで一目惚れ。そのままサークルに入ってしまったが…

★林住期 五木寛之



これから誰しもが迎えるだろう『林住期』予備軍の若い世代全員に贈る新しい人生論。人は何の為に生まれて来たのか？それをまともに考える、第三の人生の目的、人生のクライマックスがここにある！



＝お知らせ＝

Web予約開始&県内図書館横断検索に変わりました★

- ・図書館HPから本やビデオなどの予約ができます！（要申込）
- ・県内の図書館全部から検索する「横断検索」に江府町も変わりました。ぜひご利用ください。

今月の展示

六月といえば…ジューンブライド！
ということで、テーマは「結婚」です。
「結納」「入籍」「結婚式」「新婚旅行」…よく聞くけど実際どうということ？いくらくらいかかるの？
そんな気になる疑問ありますよね？図書館では、「結婚」をテーマに集めた本を展示します。どれでも借りられますのでどうぞお気軽に！（展示コーナーで、6/11～）



江府町立図書館 TEL 75-2005 FAX 75-3942

開館時間 平日 午前8:30～午後7:00 土日・祝 午前8:30～午後5:30

行事あれこれ

6月

都合により、日程が変更される場合があります。

日曜日	行事名	場所	時間
11月	公民館講座(絵手紙・油絵)	防災情報センター	13:30~
12火	公民館講座(太極拳)	防災情報センター	19:00~
13水	チャレンジ太極拳入門講座	総合健康福祉センター	9:30~11:30
	公民館講座(書道)	防災情報センター	13:30~
14木	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	職域ソフトテニス大会	町民テニスコート	18:30~
	公民館講座(ヨガ)	防災情報センター	19:00~
15金	補聴器修理相談会(中国)	総合健康福祉センター	9:30~11:30
	公民館講座(フラダンス)	防災情報センター	14:00~
	消防操法町予選会	防災基地	18:00~
	職域ソフトテニス大会	町民テニスコート	18:30~
16土	公民館講座(ストレッチ)	防災情報センター	19:15~
	グラウンドゴルフ秋季スポレク予選会	せせらぎ公園	9:00~
17日	江府町小学生ソフトテニス選手権予選会	町民テニスコート	9:00~
18月	公民館講座(墨彩画)	防災情報センター	13:30~
19火	フッ素塗布(子供の国保育園児)	総合健康福祉センター	受付13:00~13:30 14:00~14:30
	公民館講座(太極拳)	防災情報センター	19:00~
20水	チャレンジ太極拳入門講座	総合健康福祉センター	9:30~11:30
	公民館講座(押し花)	防災情報センター	10:00~13:00
21木	明德学園	防災情報センター	9:30~
	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	公民館講座(陶芸)	高齢者創作館	13:00~
	補聴器修理相談会(トーン)	総合健康福祉センター	13:30~15:00
	実年ソフトボール大会(~26日まで)	町民グラウンド	18:30~

日曜日	行事名	場所	時間
22金	公民館講座(パッチワーク)	防災情報センター	13:30~
23土	公民館講座(和紙折り紙)	防災情報センター	10:00~
24日			
25月			
26火	公民館講座(フラダンス)	防災情報センター	19:00~
27水	チャレンジ太極拳入門講座	総合健康福祉センター	9:30~11:30
28木	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	公民館講座(ガラスアート)	防災情報センター	13:30~
	公民館講座(ヨガ)	防災情報センター	19:00~
29金			
30土			

7月

日曜日	行事名	場所	時間
1日			
2月			
3火			
4水	チャレンジ太極拳入門講座	総合健康福祉センター	9:30~11:30
	公民館講座(韓国料理)	防災情報センター	10:30~
5木	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
6金	補聴器修理相談会(中国)	総合健康福祉センター	9:30~11:30
7土			
8日	郡民体育大会	日野町	8:30~
9月	住民健診(~13日まで)	総合健康福祉センター	受付 8:30~9:00 10:00~10:30 13:00~13:30 14:00~14:30
	公民館講座(絵手紙)	防災情報センター	13:30~
10火			
11水	公民館講座(書道)	防災情報センター	13:30~
12木	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00~11:30
	公民館講座(ヨガ)	防災情報センター	19:00~
	軟式野球審判講習会	町民グラウンド	20:00~
13金	公民館講座(生け花)	防災情報センター	19:00~
14土			
15日			

●広域隣保活動の参加希望者は本五集会所(☎75-2624)へ連絡してください。

求人募集

6月分

求人事業所名	所在地	職種	年齢	賃金	就業時間
日本生命保険相互会社日野支部	佐川1028-1	生命保険・損害保険の販売	20~50	140,000	9:00~17:00
社会福祉法人寿耕会(チロルの里)	久連7	介護支援専門員	不問	192,672~202,864	8:30~17:30
社会福祉法人寿耕会(チロルの里)	久連7	看護師(正・准)	不問	148,500~186,200	8:30~17:30
(株)日野リース	佐川749-1	作業員	25~35	120,000~200,000	8:30~17:00
日野病院組合(介護老人保健施設あやめ)	武庫475	看護師(正・准)	不問	時給1,130~1,250	9:00~16:00 の間の2時間以上
休暇村大山鏡ヶ成	御机709-1	フロント係	不問	132,000~149,600	6:30~15:30 12:00~21:00
休暇村大山鏡ヶ成	御机709-1	レストラン係	不問	132,000~149,600	6:30~15:30 12:00~21:00
休暇村大山鏡ヶ成	御机709-1	調理係	不問	147,200	6:30~15:30 12:00~21:00
江尾貨物自動車(有)	佐川1002-1	クレーンオペレーター	不問	140,000~180,000	8:00~17:00
ダイセン縫製(株)	武庫500-1	縫製オペレーター及び下手間	18~50	109,120~144,320	8:15~17:15

●求人情報に関する問い合わせ先 米子公共職業安定所根雨出張所(TEL72-0065)

※町報掲載時までには、充足済等により求人が取り消しとなっている場合がありますのでご了承ください。

江府町人権同和問題啓発標語

江尾小学校2年 森田大地 気づこうよ 自分のしたこと 言ったこと
米沢小学校2年 下垣奈七海 「ありがとう」 えがおになれる ことばだよ

学年は応募があった平成18年度時点で掲載しています。

人の動き

5月届
(敬称略)

◎お誕生おめでとう

(住所)	(氏名)	(性別)	(保護者)
貝田	森田 心晴	女	智樹
新二	田中蓮太郎	男	王人

◎ご結婚を祝します

渡邊 聰)	新道
原口 希望)	大山町から
沢山 孝博)	佐川
山口美穂子)	江尾から
中田 尚)	御机
後藤 豊子)	広島県府中市から

◎ごめい福を祈ります

(住所)	(氏名)	(年齢)	(世帯主)
新 一	岡本 清香	87歳	本高善久
新 二	加藤 夏枝	89歳	正史
佐 川	森下 久雄	72歳	陽子
美 用	景山 陽治	78歳	加代子

ご 寄 付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

(5月分) 敬称略

◎見舞い返しとして

本町五	中前ひでこ	本人退院
本町三	山口 純子	本人退院
荒 田	林 美貴子	本人退院
貝 田	森田 良一	本人退院
美 用	川上喜世子	本人退院
洲河崎	三好 昭子	本人退院

◎香典返しとして

新町一	岡本 博之	母清香死去
半の上	細田 清則	父清正死去
新町二	加藤 正史	祖母夏枝死去

交通死亡事故ゼロ継続日数

481日 (6月1日現在)

火 災

火災ゼロ継続日数

62日 (6月1日現在)

町の人口	3,725人 (-3)
男	1,750人 (±0)
女	1,975人 (-3)

世帯数 1,166世帯 (+1)

5月末現在()は前月比

男女共同参画週間

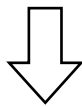
男女共同参画推進本部では、6月23日から29日までの一週間を「男女共同参画週間」とし、男女共同参画社会の実現に向け、次の5つの基本理念を掲げ、様々な取り組みを行っています。

- 1. 男女の人権の尊重**
(男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる機会の確保)
- 2. 社会における制度・慣行についての配慮**
(男女が様々な場面で活動ができるよう社会の制度や慣行について考える)
- 3. 政策の立案および決定への共同参画**
(男女が社会の対等なパートナーとして、いろいろな方針の決定に参画できるように)
- 4. 家庭生活における活動と他の活動の両立**
(男女が家族の構成員として互いに協力し、社会の支援も受け、家族としての役割をはたしながら、仕事や学習、地域活動ができるよう)
- 5. 国際的協調** (他の国々や国際機関とも相互に協力して)

◎仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動を自らの希望に沿って推進できる社会の実現を目指して、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に取り組んでいます。

ひとりひとりが、様々な希望を実現し、豊かさを実感



- ・活気に満ちた企業・組織
(人材の多様性・意欲の向上)
- ・家庭生活の充実
(子育ての充実・家族のふれあい)
- ・地域の活性化
(地域活動への参画・交流の拡大)

- ・男性も家事・育児・介護、地域活動の希望を実現
- ・女性も家庭生活と両立し、キャリア形成や再就職が可能
- ・社会活動、自己啓発により、個人の可能性が拡大
- ・高齢者も意欲と能力に応じ就労
- ・生涯にわたり、心身ともに健康と活力を維持

これまでの功績を讃えられ

～赤十字社鳥取県支部西部地区江府町分区～

5月28日、日本赤十字社創立130周年記念社業功労特別表彰の伝達式が倉吉市でありました。

江府町分区は、社資募集を通じて、赤十字事業の発展に貢献した功績が認められ受賞となりました。

当日は、江府分区長である竹内町長が出席し、日本赤十字社鳥取県支部長から、表彰状を受け取りました。



今月の国民年金

納付期限

6月分
平成19年7月31日まで

社会保険事務所から送られてくる納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

《6月の納税は》

- ・町県民税 (第1期)
- ・国民健康保険税 (第1期)
- ・介護保険料 (第1期)

納付期限は7月2日(月)です。
(口座振替は7月2日)

瓜菜沢牧場で 和牛放牧始まる



五月晴れの晴天に恵まれた五月二十四日、瓜菜沢放牧場で、今年度の和牛放牧が始まりました。

お腹に管理用の番号をかかれた牛たちは、綱がはずされると元氣よく飛びまわり、新緑の色が濃くなつた草原の中、草を美味しそうに食べていました。これから十月末までの期間、冷涼な放牧場でのんびりとすごします。

放牧に先立って、電気牧柵の設置や冬期間の降雪によって壊れた柵を、農家のみなさんと関係者が一体となつて汗を流し修繕しました。

この放牧で、畜産農家の労力軽減につながり、水稲や野菜生産の振興が図られるとともに、和牛の健康増進にも効果があります。



和牛全共鳥取県 第2次集合審査会行われる



五月十八日、琴浦町の鳥取県中央家畜市場で、第九回全国和牛能力共進会（通称：全共）への出品牛を選抜する、鳥取県第二次審査会が行われました。

三月に行われた一次審査を通過した、県内の和牛五十六頭が集められ、江府町からも三頭が出品されました。

審査の結果、砂口正文さん（吉原）の「さくら号」が、第三区（若雌）の部門で、鳥取県代表を決める最終審査会（七月開催）への出場を決めました。

出品者

第三区（若雌）

砂口正文さん（吉原） さくら号

第六区（高等登録群）

新見一郎さん（袋原） きみこ号

第七区（総合評価群）

越峠嘉道さん（下蚊屋） ひらしげ号

全共は、五年に一度全国の優秀な和牛を集めて開かれ、「和牛のオリンピック」と呼ばれています。今回は、十月十一日から十四日にかけて、米子市の崎津団地をメイン会場に、約五百頭を集めて行われます。